

施工説明書

連続手すり 900mmピッチタイプ 品番 MFE1R他

- ※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。
他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。
- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」（2ページ）は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書、保証書は、必ずお客様にお渡しください。（施工完了後、使い方を説明してください。）

もくじ

安全上のご注意	2
施工前の確認	3
施工上のご注意	3
手すりの設置位置について	3
施工概要	3
階段姿図例（90° 3段まわり12段）	3
部品・部材の確認	4
施工のながれ	5
施工手順	
墨出し	5
ブラケットの位置合わせ方法	5
ブラケット（壁付け用）の固定および丸棒手すりの固定	6~7
ブラケット（平面コーナー用）の固定および丸棒手すりの固定	7~8
ブラケット（入隅コーナー用）の固定および丸棒手すりの固定	8
出隅部の固定	9
ブラケット（笠木取り付け用）の固定および丸棒手すりの固定	9~10
スタート金具の取り付け	10
エンド金具の固定	11
エンドブラケットの固定	11
施工後の確認	裏表紙



安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


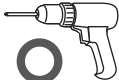
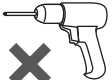


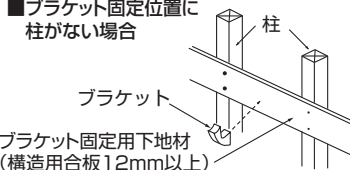


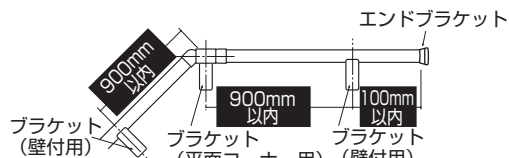
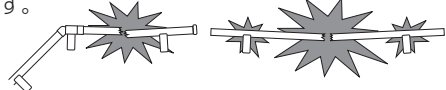
■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

 禁止	<p>●柱や下地の強度が不十分な場合は施工しない ※ねじをねじ込み、柔らかい木材や腐れ、虫食いなど、下地の状況を確認してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">○ PB 12t — 柱</td> <td style="width: 33%;">合板12t — 柱</td> <td style="width: 33%;">PB12t — 柱</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>・しっくい — 柱 ・塗り壁など</td> <td> 胴縁 化粧合板 PB12tなど — 柱 </td> </tr> </table> <p>●仮固定中の丸棒手すりとブラケットは故意に丸棒手すりを揺すったり、力を加えたりしない 丸棒手すり、ブラケットが落下し、けがをするおそれがあります。</p>	○ PB 12t — 柱	合板12t — 柱	PB12t — 柱	×	・しっくい — 柱 ・塗り壁など	胴縁 化粧合板 PB12tなど — 柱	<p>●プラスターボードの二重貼りや胴縁施工GL工法、軽鉄など、柱や下地材から壁仕上げ表面まで12mmを超える場合は施工しない ブラケットの外れ、転落、転倒事故の原因になります。</p> <p>●潤滑油などの薬品を用いてふかない 金具の破損の原因になるおそれがあります。</p> <p>●各部材を取り付ける際、インパクトタイプの電動ドライバーを使用しない ねじの破損や、取り付け不安定による丸棒手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">トルク調整タイプ インパクトタイプ</p>
○ PB 12t — 柱	合板12t — 柱	PB12t — 柱						
×	・しっくい — 柱 ・塗り壁など	胴縁 化粧合板 PB12tなど — 柱						
 必ず守る	<p>●本部材は、住宅の屋内においてのみ使用する。ただし浴室などの湿気が多い場所での使用はさける</p> <p>●仮固定作業中は施工場所周囲に安全防護柵を施すなど、丸棒手すりが使用できないことがわかるようにする</p> <p>●部材の仮置き保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避け、床面が水平な場所に保管する くされや材割れなどにより丸棒手すり部材が外れたり、折れたりして、転落事故の原因になります。</p> <p>●取り付けは必ず取り付け工事が施工する 部材の反り、ネジレが発生し、取り付け不安定による丸棒手すりの外れ、転落・転倒事故の原因となります。</p> <p>●ブラケットの固定位置には必ず柱(木材)があることを確認する。または下地材(構造用合板12mm以上)を柱の所定の位置に取り付ける(下図参照) ブラケットの外れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■ブラケット固定位置に柱がある場合</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>■ブラケット固定位置に柱がない場合</p>  <p>ブラケット固定用下地材(構造用合板12mm以上)</p> </div> </div> <p>●ブラケット(入隅コーナー用)の固定位置には、図のように必ず柱と栈木(2か所)があることを確認する ブラケットの外れ、転落、転倒事故の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ブラケット(入隅コーナー用)</p> <p>●カップのシャフト軸・ナット部は必ず本体に水平になるように取り付ける カバーがきちんと締まらず、丸棒手すりが落ちけがをするおそれがあります。</p> <p>●ブラケット固定の最終工程で、着脱ナットの増し締めを必ず行う 丸棒手すりの外れ、転落、転倒事故の原因になります。</p>	<p>●ブラケットの取り付け間隔は900mm以内にする</p> <div style="text-align: center;">  <p>900mm以内 900mm以内 100mm以内</p> <p>ブラケット(壁付用) ブラケット(平面コーナー用) エンドブラケット(壁付用)</p> </div> <p>●エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける 丸棒手すり本体やブラケットが折れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>●天井、床に取り付けたスタート金具から100mm以内に笠木ブラケットを取り付ける</p> <p>●笠木ブラケット同士の間隔は900mm以内に納める 取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <p>●トルクの調整できる電動ドライバーを使い、ねじの空転やねじがねじ切れることのないようトルクを調整する</p> <p>●材割れ防止のために、必ず目地を下にして取り付ける 取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <p>●丸棒手すりに必ず下穴(約φ2.5mm)をあけてからねじを取り付ける ねじが破損するおそれがあります。</p> <p>●部材の固定は材割れ防止のため必ず下穴を明け、同梱しているねじを使用し確実に締め込む ねじの突出によるけがや、保持力不足による丸棒手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <p>●本丸棒手すりには、「梱包内容の確認と施工上の注意」に記載されている金具を使用する ねじやブラケットが折れ、転落・転倒事故の原因になります。</p> <p>●施工中に丸棒手すりに傷をつけて化粧シートが破れたり、めくれたりした場合は使用を中止し、すみやかに補修依頼を行う そのまま使用すると手を切ったり、けがをする原因になります。</p> <p>●カットの際は養生シートの上で行う</p>						

施工前の確認

- 開梱したら、部材に損傷がないかご確認ください。
躯体へ取り付け後の損傷クレームについては責任を負えませんので施工前にご確認ください。

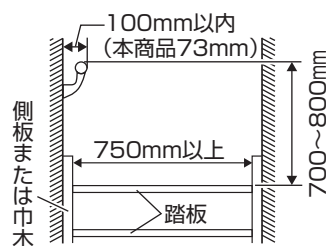
施工上のご注意

- 塗装済み部材をシンナーなどでふかないでください。
色むら・ツヤむらの原因になります。
- 次亜塩素系洗剤（漂白剤、カビ用洗剤など）でふかないでください。金属部のサビの原因になります。

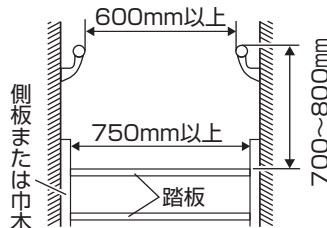
手すりの設置位置について

- 図のように手すりの取り付け高さは段鼻、床の位置から700～800mmが一般的です。
(使用される方の使いやすい位置に設置してください。)
- 階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm以上確保してください。
なお、図のように片側へ取り付ける場合、手すりの出幅が100mm(本商品の手すり出幅は73mmです)以内であれば階段有効幅の750mmに算入することができます。手すりを両側へ取り付ける場合は、手すりの突端間が600mm以上あることが必要です。(この場合でも階段自体の有効幅は750mm以上必要です。)
- 手すりの取り付け位置寸法を厳守してください。

■片側到手すりを設置する場合



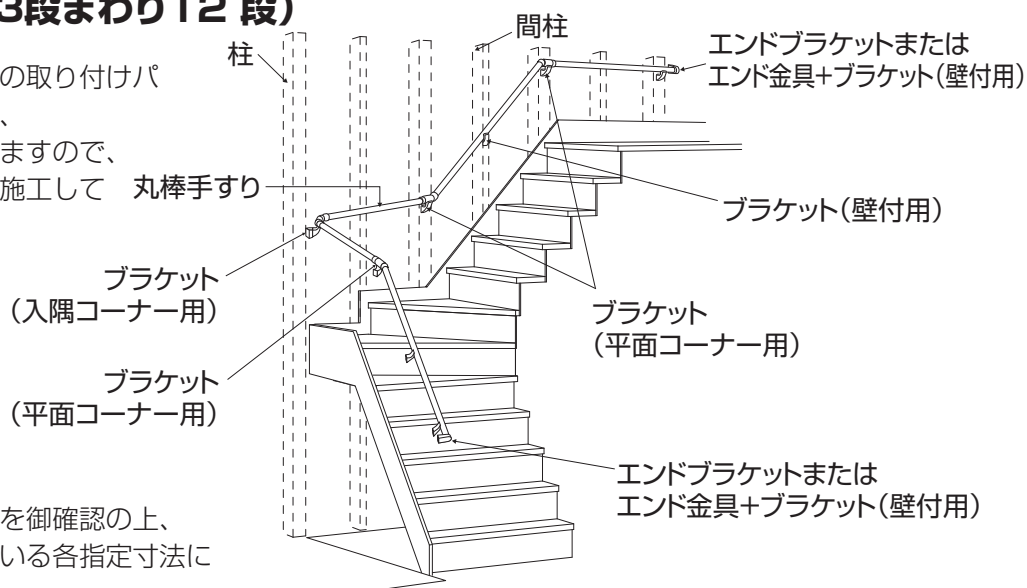
■両側到手すりを設置する場合



施工概要

階段姿図例(90° 3段まわり12段)

※階段形態により手すりの取り付けパターンが異なりますが、施工方法は共通となりますので、右記パターンを参考に施工してください。



取り付けの際は建築図面を御確認の上、本施工説明書に記載している各指定寸法に従って施工してください。

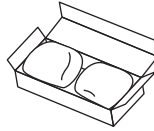
改訂版履歴

2014年4月 初版制作

部品・部材の確認

■ブラケット

・壁掛け用 ・平面コーナー用 ・入隅コーナー用

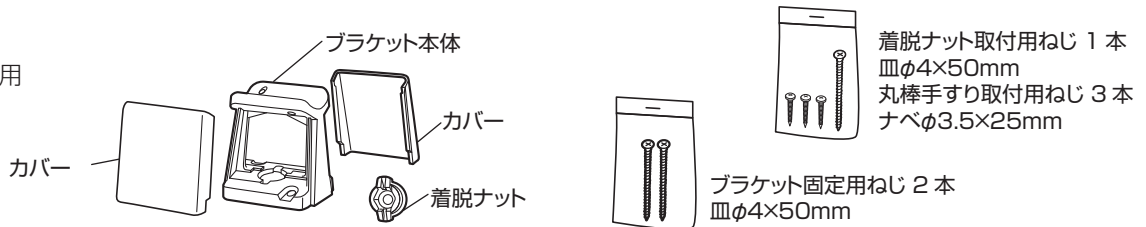


部材は2種類の袋に分かれています。

	壁掛け用	平面コーナー用	入隅コーナー用
部材袋 A (仮固定用)	<p>ブラケット本体 着脱ナット</p>	<p>ブラケット 着脱ナット</p>	<p>ブラケット 着脱ナット</p>
	<p>着脱ナット取付用ねじ 1本 皿φ4×50mm 丸棒手すり取付用ねじ 2本 ナベφ3.5×25mm</p>	<p>着脱ナット取付用ねじ 1本 皿φ4×50mm 丸棒手すり取付用ねじ 4本 ナベφ3×16mm</p>	<p>着脱ナット取付用ねじ 1本 皿φ4.2×100mm 丸棒手すり取付用ねじ 4本 ナベφ3×16mm</p>
部材袋 B (本固定用)	<p>カバー カバー裏面</p> <p>赤袋 ブラケット固定用ねじ 2本 皿φ4×50mm</p>	<p>上部カバー 下部カバー裏面</p> <p>赤袋 ブラケット固定用ねじ 2本 皿φ4×50mm</p>	<p>上部カバー 下部カバー裏面</p> <p>赤袋 ブラケット固定用ねじ 3本 コーススレッドφ4.2×100mm</p>
※ねじはカバーの裏面に貼付けてあります。			

■ブラケット

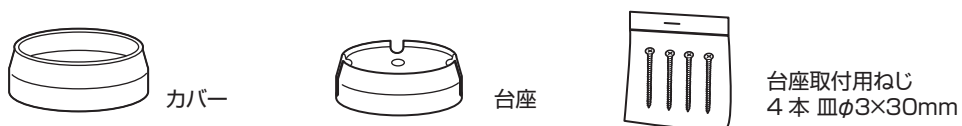
・笠木取付け用



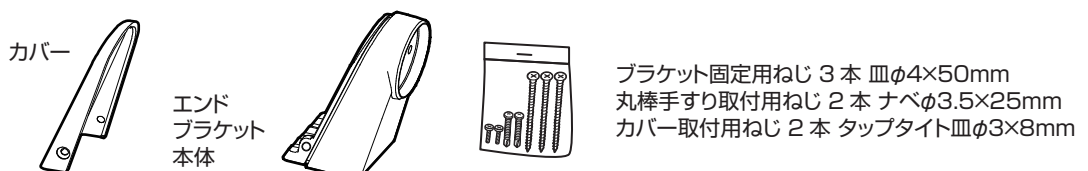
■フレキシブルジョイント



■スタート金具 (カバー、台座、取付用ねじ)



■エンドブラケット



施工のながれ



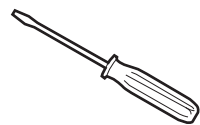
※クロス貼り後の施工の場合、4 5 は不要です。

■ブラケットの固定および丸棒手すりの固定

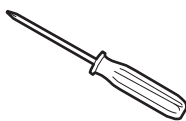
ブラケットの種類	工程				
壁付け用	1 ブラケットの仮固定 2 丸棒手すりの固定	→	【クロス貼り工程】 ※クロス貼りより前に仮施工する場合は 3 を実施してください。	→	4 着脱ナットの増締め 5 ブラケットの本固定
	1 ブラケットの仮固定 2 カップの調整 3 丸棒手すりの固定	→	4 手すりと金具と 着脱ナットの分離	→	5 着脱ナットの増締め ブラケットの本固定
入隅コーナー用	1 ブラケットの仮固定 2 カップの調整 3 丸棒手すりの固定	→	4 手すりと金具と 着脱ナットの分離	→	5 着脱ナットの増締め ブラケットの本固定

施工手順

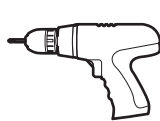
施工に必要な工具



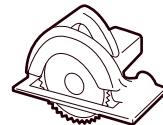
マイナスドライバー



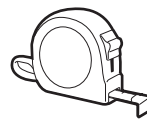
プラスドライバー



電動ドライバー



丸のこ

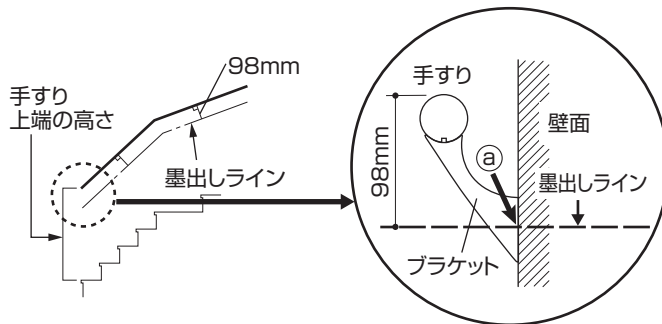


コンベックス

1 壁に墨出しをする

〈直線部～勾配部〉

①段鼻からの手すりの高さを基準に、ブラケットと壁の接触面の中央部①に合わせたラインを墨出しする。



2 ブラケットの位置を合わせる

〈壁付用、平面コーナー用、入隅コーナー用〉

①左図吹き出し部のようにブラケットと壁の接触面の中央部①をブラケット取付位置(墨出しライン)と水平に合わせる。

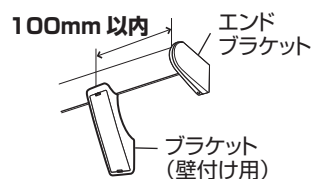
警告



必ず守る

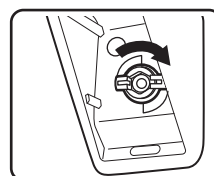
- ブラケットの取り付け間隔は900mm以内にする
- 丸棒手すりに必ず下穴(約φ2.5mm)をあけてからねじを取り付ける
ねじが破損するおそれがあります。

- エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける
手すり本体やブラケットが折れ、転落・転倒事故の原因になります。

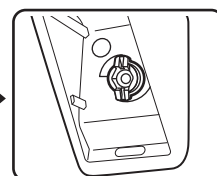


注意 ブラケットを仮固定する前に

1. ブラケット本体と付属の着脱ナットがあらかじめ装着されていることを確認してください。
2. 着脱ナットは時計回りに90度回転させてしっかりと装着してください。



ナットを時計回りに90度回転

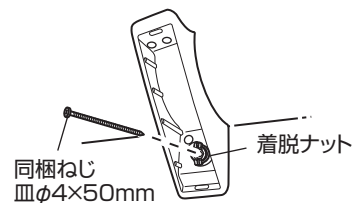


ブラケット（壁付け用）の固定および丸棒手すりの固定

1 壁にブラケットを仮固定する

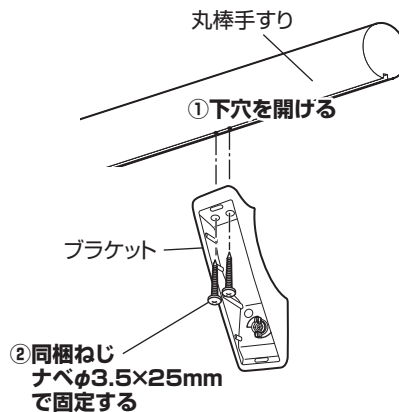
- ①ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。

注意 ねじを壁に深く打ち込みすぎないでください。着脱ナットが回らなくなるおそれがあります。



2 ブラケットに丸棒手すりを固定する

- ①丸棒手すりにブラケットをあて、下穴の位置を確認し、下穴(約φ2.5mm)をあける。
②受け座と手すりを密着させ、同梱ねじ(φ3.5×25mm)で固定する。



警告

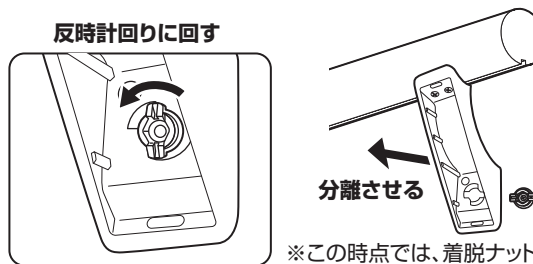


禁止

●仮固定中の手すりとブラケットは故意に手すりを揺すったり、力を加えたりしない
手すり、ブラケットが落下し、けがをするおそれがあります。

3 丸棒手すりと着脱ナットを分離する(着脱する場合)

- ①着脱ナットを反時計回りに回し、手すりとの着脱ナットを分離させる。

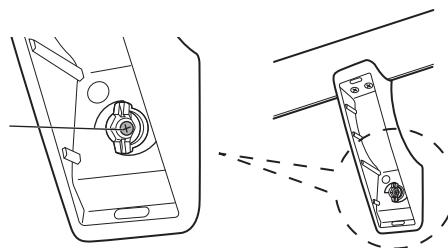


【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

4 壁に着脱ナットを固定する

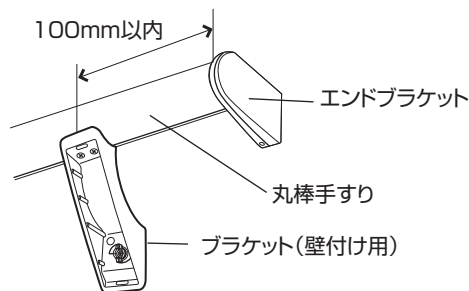
- ①再びブラケットを着脱ナットに装着し、着脱ナットのねじを最後まで締める。

ねじを最後まで締める



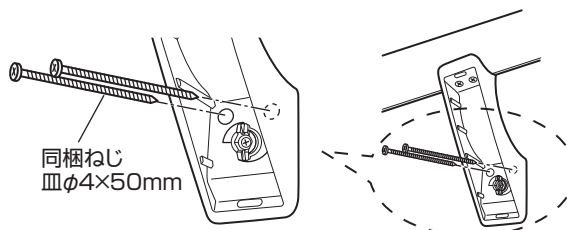
壁に固定する前に

エンドブラケットが取り付けしにくい場合は、ブラケット（壁付け用）を壁に固定するまえにエンドブラケットを施工してください。エンドブラケットの施工手順は11ページを参照してください。



5 壁にブラケットを固定する

- ①同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)でブラケットの残り2か所を固定する。



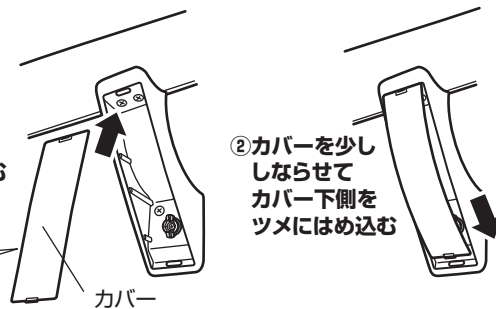
6 ブラケットにカバーを取り付ける

- ①カバーをブラケットの上側のツメに合わせ
てはめ込む。
- ②カバーを少ししならせて、ブラケット下側
のツメに差し込む。

①カバー上側を
ツメにはめ込む

②カバーを少し
しならせて
カバー下側を
ツメにはめ込む

カバーの取り外しはカバー下部の凹部に
ドライバーなどを引掛けて外すことができます。



警告



必ず守る

- ブラケット固定の最終工程で、着脱ナットの増し締めを必ず行う (4)
- 同梱ねじ (赤袋、カバー梱包分) で残り2か所の固定を必ず行う (5)
丸棒手すりの外れ、転落、転倒事故の原因になります。

必ず固定する

最後に
増締めをする



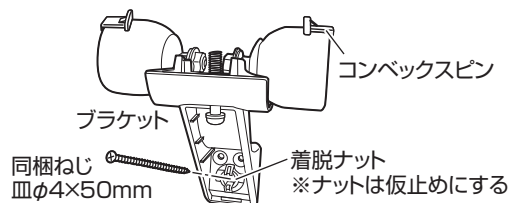
ブラケット(平面コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定

1 壁にブラケットを仮固定する

- ①ブラケットに装着した着脱ナットを柱や
下地材に仮止め固定する。

注意

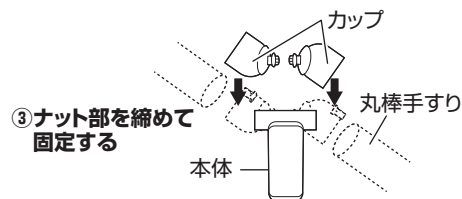
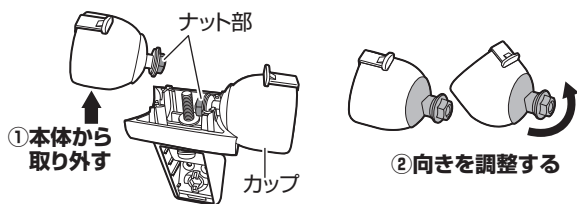
丸棒手すりを仮置きし
ブラケットの位置を確認してください。



2 カップの向きを調整する

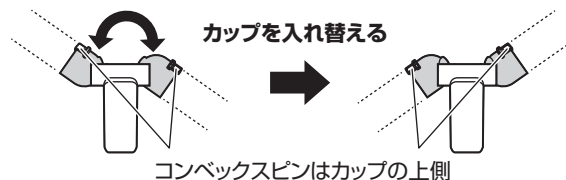
- ①カップのナット部をゆるめ、本体から取り外す。
- ②丸棒手すりの取り付け角度に合わせカップの向き
を調整する。

- ③調整後、カップを本体に戻しナット部を締めブラ
ケットに固定する。
※左右同じ要領で固定してください。



丸棒手すりの上下方向が変わる場合

コンベックスピンがカップの上側にある必要
があります。手すりの上下方向が変わる場合
はカップを入れ替えてください。



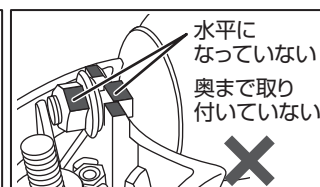
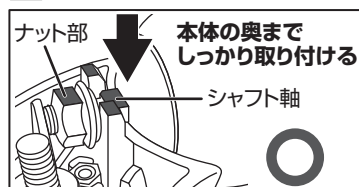
警告



必ず守る

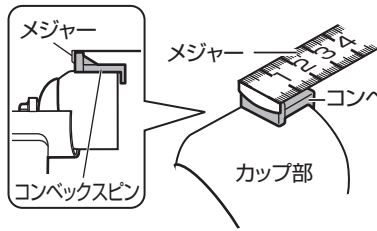
- カップのシャフト軸・ナット部は必ず
本体に水平になるように取り付ける
カバーがきちんと締まらず、丸棒手すりが
落ちけがをするおそれがあります。

■の部分水平にあわせてください。

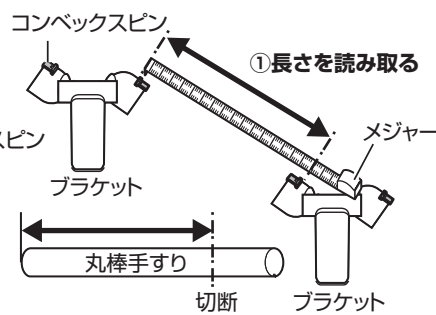


3 ブラケットに丸棒手すりを固定する

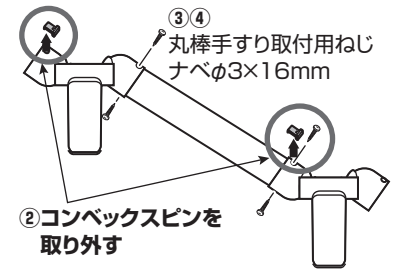
①コンベックスピンにメジャーを引っ掛け、読み取った長さに丸棒手すりを切断する。



②コンベックスピンをカップから取り外す。

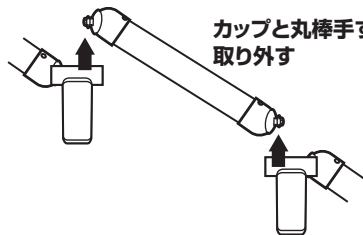


③丸棒手すりに下穴(約φ2.5mm)をあける。
④同梱のねじで丸棒手すりを取り付ける。

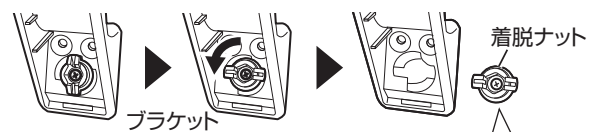


4 丸棒手すりと金具と着脱ナットを分離する (着脱する場合)

①ブラケット本体からカップと丸棒手すりを取り外す。



②着脱ナットを反時計回りに回し、ブラケットと着脱ナットを分離させる。

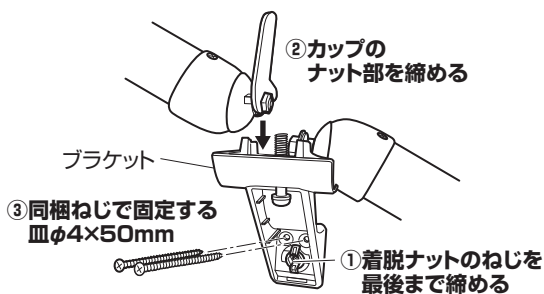


※この時点では、着脱ナットのみが壁にねじて取り付けられている。

【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

5 壁にブラケットを固定する

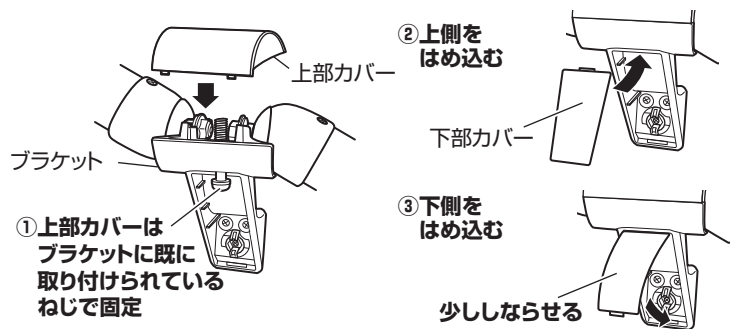
- ①クロス貼りの後、再びブラケットを着脱ナットに装着し着脱ナットのねじを最後まで締める。
- ②カップと丸棒手すりを本体に取り付け、カップのナット部を締める。
- ③同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)でブラケットの2か所を固定する。



6 ブラケットにカバーを取り付ける

- ①上部カバーをねじで固定する。
- ②下部カバーの上側をブラケットのツメに合わせてはめ込む。
- ③下部カバーの下側をブラケットのツメに合わせてはめ込む。

注意 上部カバーとブラケットの間にすき間がないか、カップのがたつきはないか確認してください。

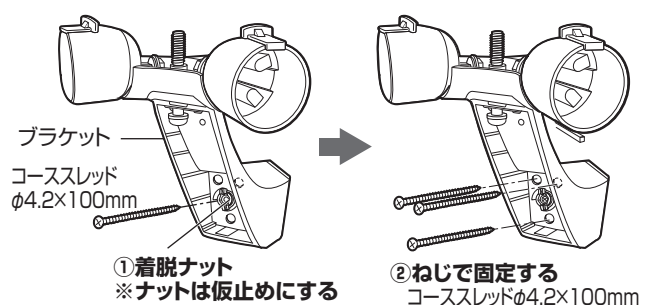


ブラケット(入隅コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定

1 壁にブラケットを仮固定する

- ①ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。
- ②ブラケットを柱や下地材に同梱のねじで固定する。(着脱ナットを90°回し、仮固定する)

注意 丸棒手すりを仮置きしブラケットの位置を確認してください。



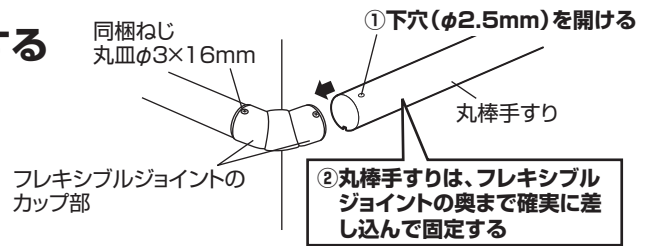
2 以降は7~8ページ ブラケット(平面コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定 2~6

と同様の施工を行ってください。

出隅部の固定

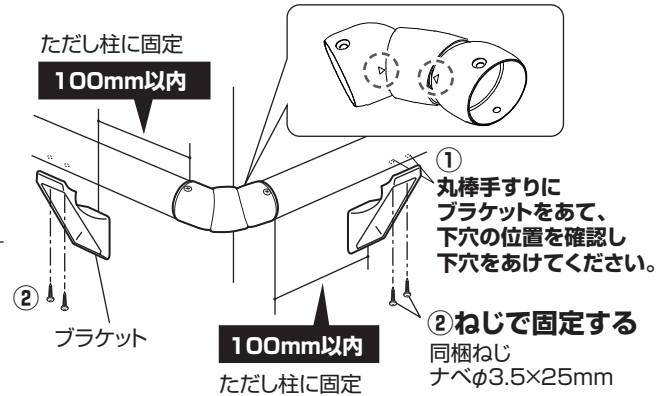
1 コーナー用部材に丸棒手すりを固定する

- ①丸棒手すりに下穴(約φ2.5mm)をあける。
- ②図のように、フレキシブルジョイントの両側(カップ部)に丸棒手すりを奥までしっかり差し込み、同梱のねじで固定する。



2 ブラケットに丸棒手すりを固定する

- ①フレキシブルジョイントの可動方向(カップの△の方向に動きます)をさぐりながらブラケットにのせる。
- ②丸棒手すりがブラケットの受け部に完全に密着する位置で丸棒手すりとブラケットを固定する。

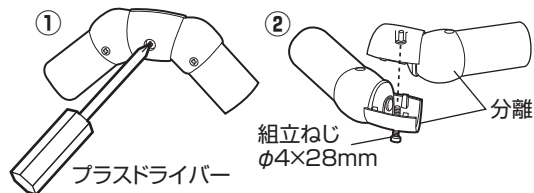


3 ブラケットにカバーを取り付ける

- ①丸棒手すり全体の取り付けが終わった後、施工後の確認をしてからカバーを取り付ける。

■クロス貼りなどで丸棒手すりを外す場合

- ①プラスドライバーを使用し、中心部に取り付けられているねじを外す。
- ②パーツを分離する。



ブラケット(笠木取付け用)の固定および丸棒手すりの固定

1 壁に着脱ナットを固定する

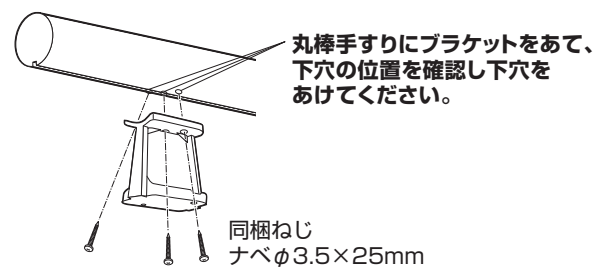
- ①ブラケットの位置を確認し、柱や下地材に着脱ナットを固定する。



【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

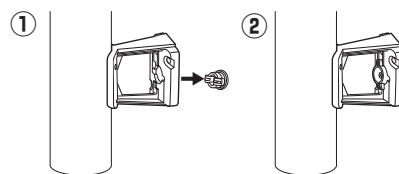
2 ブラケットに丸棒手すりを固定する

- ①ブラケットを丸棒手すりに密着させ、丸棒手すりに下穴(約φ2.5mm)をあけて同梱のねじで固定する。



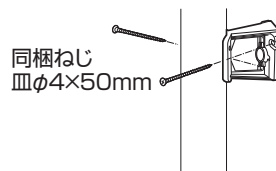
3 着脱ナットにブラケットを装着する

- ①丸棒手すりを装着したブラケットを着脱ナットに装着する。
- ②着脱ナットを90°回転させ固定する。(5ページ **注意** ブラケットを仮固定する前に参照)



4 壁にブラケットを固定する

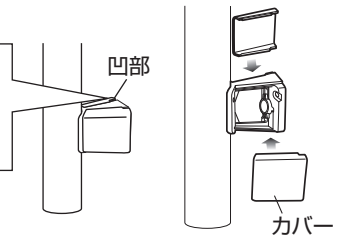
- ①同梱ねじでブラケットの残り2か所を壁に固定する。



5 ブラケットにカバーを取り付ける

①カバーをブラケットのツメに合わせてはめ込む。

カバーの取り外しはカバー下部の凹部にマイナスドライバーなどを引掛けて外すことができます。



警告



必ず守る

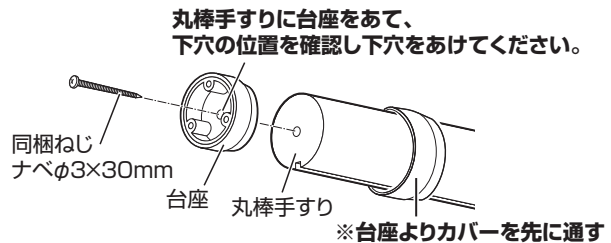
- ブラケットの取付間隔は900mm以内に取り付ける
- 材割れ防止のため必ず下穴（約φ2.5mm）をあけてからねじを取り付ける
- 材割れ防止のために、必ず目地を下にして取り付ける

- 各部材を取り付ける際、インパクトタイプの電動ドライバーを使用しない
 - トルクの調整できる電動ドライバーを使い、トルクを調整して、ねじの空転やねじが切れることのないようにする
- 取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。

スタート金具の固定（※着脱できません） 下記手順は床～天井に手すりを固定する場合

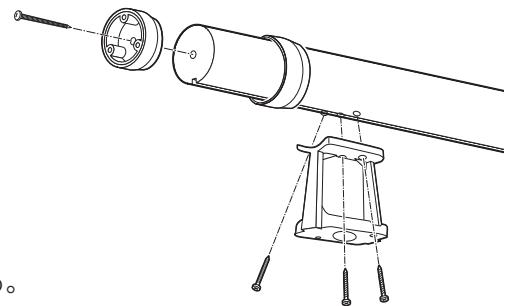
1 丸棒手すりを加工する

- ①床～天井の高さ寸法を測る。
 <床～天井面の高さ寸法> - 27.6mm
 の長さに丸棒手すりを切断する。



2 丸棒手すりにスタート金具を固定する

- ①丸棒手すりに下穴（約φ2.5mm）をあけ、手すりの両端にスタート金具台座を同梱ねじで取り付ける。
 （カバーを先に丸棒に通してください）



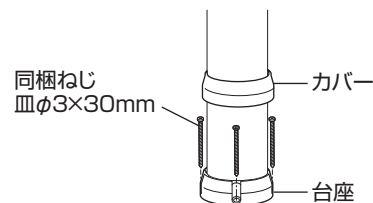
3 丸棒手すりにブラケットを装着する

- ①ブラケット（笠木取り付け用）を丸棒手すりに取り付ける。

9～10ページの **ブラケット(笠木取り付け用)の固定および丸棒手すりの固定** をご参照ください。

4 天井、床にスタート金具を取り付ける

- ①天井と床の取り付け位置に手すりを合わせ、天井と床にスタート金具を同梱ねじで取り付ける。



5 台座にカバーを取り付ける

- ①台座にカバーをかぶせる。

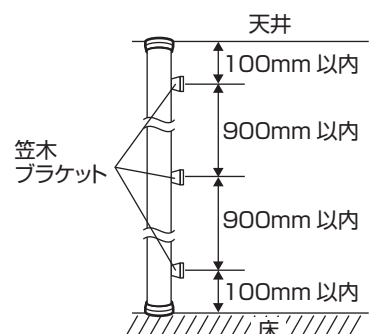
■玄関プランの場合

警告



必ず守る

- 天井、床に取り付けたスタート金具から100mm以内に笠木ブラケットを取り付ける
 - 笠木ブラケット同士の間隔は900mm以内に納める
- 取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。



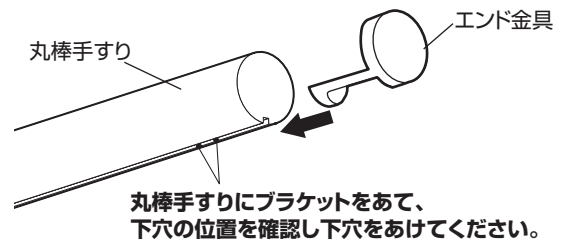
エンド金具の固定

1 壁にブラケットを仮固定する

- ①ブラケットに同梱の着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。
(5 ページ **注意** ブラケットを仮固定する前に 参照)

2 エンド金具を丸棒手すりに取り付ける

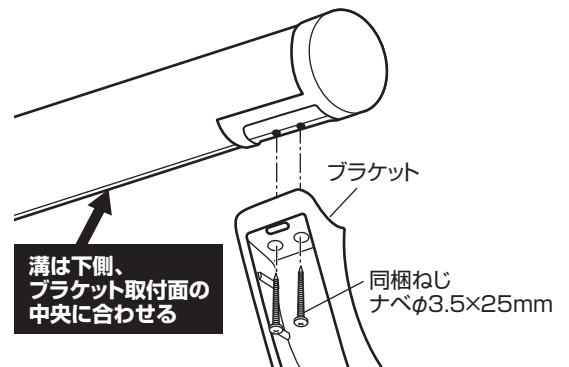
- ①丸棒手すりに下穴 (約 ϕ 2.5mm) を 2 か所あけ、丸棒手すりにエンド金具を取り付ける。



3 エンド金具にブラケットを固定する

- ①ブラケットと丸棒手すりでエンド金具をはさみブラケット同梱のねじで固定する。

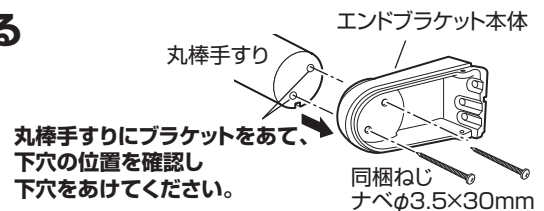
ブラケットの本固定については6~7ページの
ブラケット(壁付け用)の固定および丸棒手すりの固定
を参照してください。



エンドブラケットの固定(※着脱できません)

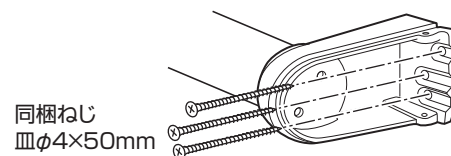
1 丸棒手すりにエンドブラケットを固定する

- ①丸棒手すりに下穴 (約 ϕ 2.5mm) をあけ同梱のねじで固定する。



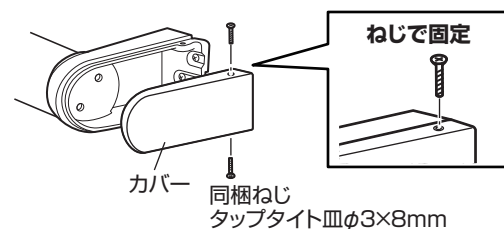
2 壁にエンドブラケットを固定する

- ①同梱のねじで下地材などに固定する。



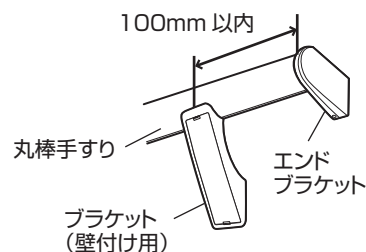
3 エンドブラケットにカバーを取り付ける

- ①カバーをスライドさせて本体に取り付け、同梱のねじで固定する。



■エンドブラケットを取り付ける場合

図のように取り付け間隔を必ず厳守する。

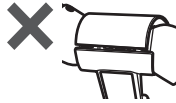




施工後の確認

[寸法単位：mm]

■施工が完了したら、手すりにがたつきがないか、金具部のねじが確実に締結されているか、確認してください。緩みがあれば確実に締め直してください。


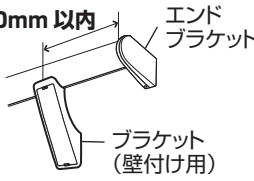
■すき間やがたつきがある場合は、上下部カバーを取り外し下記を確認してください。

確認項目	チェック
①カバーと本体間にすき間はないか？	
②カップのがたつきはないか？	
③手すりのがたつき、ぐらつきはないか？	

確認項目	チェック
③カップはブラケットにきちんと取り付けられていますか？ (7ページ参照)	
④カップのナット部はしっかりと締め付けられていますか？ (7ページ参照)	
⑤手すりとブラケットはしっかりとねじで固定されていますか？	

■再度以下の項目について確認ください。

警告

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●ブラケットの取付間隔は900mm以内に取り付ける ●エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける <p>手すりの破損、金具の外れが生じ、転落・転倒事故の危険があります。</p>	 <p>100mm 以内 エンドブラケット</p> <p>ブラケット (壁付け用)</p>
--	---	--